

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 224



* 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問)「風船爆弾」について知りたい。

答) 図書 → ことば → 風船爆弾 ⇒ 180件

『戦争と勿来 第4集 市民の体験と訊き書き』

(閉架一般 916/Sa49/4)

『迷宮歴史倶楽部 戦時下日本の事物画報』

(開架一般 210.7/Mo57)

検索結果が多いときには、タイトル や 分類 など
絞り込み検索 ができます。

タイトル → 風船爆弾 ⇒ 16件

『風船爆弾 乙女たちの青春 写真記録』(閉架一般 210.75/H48)

『風船爆弾 青春のひとつま 女子動員学徒が調べた記録』(閉架一般 210.75/Mi37)

『風船爆弾 純国産兵器「ふ号」の記録』(開架一般 559/Y92)

『風船爆弾を作った日々』(閉架一般 210.75/E35)

分類 → 913:小説、物語 ⇒ 5件

『青い風船』(開架児童書 913/Mi86)

『火の壁をくぐったヤギ 現代の民話・戦争ってなにあに 4』(開架児童書 913/196)

『風船爆弾』(地下書庫和図書 913/Su96)

7階 常設展示室(戦中の学童・学徒)では、風船爆弾の材料として使われていた和紙が展示されています。ぜひ、ご覧ください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



「玉音放送」の原稿は誰が書いたの？

今年も8月15日の終戦記念日がやってきます。実は「終戦記念日」というのは通称で、正式には昭和57年（1982）4月13日に毎年8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と呼称することが閣議決定されました。

昭和20年（1945）8月15日の正午、昭和天皇自らによる終戦の詔書（玉音放送）がラジオで放送されました。この玉音放送の原稿はどのようにして起草されたのでしょうか。

昭和20年7月26日に連合国は日本へ無条件降伏を迫る「ポツダム宣言」を発表、8月6日には広島へ、9日には長崎へ原爆が投下されました。同日夜11時から昭和天皇に判断を仰ぐ「御前会議」が開かれ、天皇自らポツダム宣言受諾の意思を示しました。14日午前10時から再び御前会議が開かれ、終戦が決定されました。この時の様子を内閣書記官長（現在の内閣官房長官）だった迫水久常（さこみず ひさつね）氏は次のように記しています。

かくして内閣は終戦の詔勅を起草することになりましたが、実は終戦の詔勅は内閣に於て起草すべき性質のものでありましたから、私はその責任者として既に十日の夜から、十三日の夜まで夜半その起草に着手して居りました。原稿用紙は涙のあとで一杯でした。即ち九日夜の御前会議の陛下のお言葉をそのまま文語体に改めたものであります。私の乏しい漢文の知識でまとめたものでありますので、通常の詔勅よりもやさしいのであります。唯文法の誤りがあるとは思ひ、安岡正篤、川田瑞穂先生に見て頂きました。有名な「万世の為に太平を開く」という文句は、安岡さんが支那の古典の中の成句を教え下さったのでした。このものに十四日御前会議の陛下のお言葉によって、修正したものを議題として審議致したのであります。

午後八時審議を終了しそのまま陛下のお手許に差し出し、御嘉納がありまして一切の詔書公布の手續を終了しましたのは、十四日午後十一時でありました。即ち大東亜戦争の公式終了の時間は昭和二十年八月十四日午後十一時であります。

※ 注：安岡正篤（陽明学者）、川田瑞穂（漢学者）

『終戦の真相』 P.55～56

このように、玉音放送の原稿は迫水氏が中心となって、昭和天皇のお言葉をもとに起草されました。この直後に、昭和天皇の肉声による「玉音放送」録音盤（レコード）が作成され、15日早朝には陸軍の一部将校による録音盤争奪未遂事件（宮城事件）もありましたが、正午の放送にこぎつけることができたのでした！

★参考文献★

『終戦の真相』 210.75/Sa43 閉架一般

『機関銃下の首相官邸』 210.7/Sa43 閉架一般

『大日本帝国最後の四か月』 210.75/Sa43 閉架一般

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 224

2019年7月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1